

ニュースリリース

平成25年12月18日

国土交通省記者会・専門紙記者会加盟各社 御中

(公社) 全国宅地建物取引業協会連合会

(公社) 全国宅地建物取引業保証協会

平成25年度「不動産の日」アンケート（住宅の居住志向及び購買等に関する意識調査）結果

消費税引き上げ前の駆け込み購入意識高まる

全宅連と全宅保証（会長 伊藤 博）では、9月23日を「不動産の日」と定めており、今年は9月1日から10月31日までの間、インターネットを使用して、全国の20歳以上の男女を対象にした住宅の居住志向と購買等に関する意識調査を実施していますが、今年は、昨年を上回る15,611件の回答が寄せられました。このたび、集計結果の報告書がまとまりましたので、公表いたします。

今回は、平成26年4月1日より17年ぶりに消費税率がアップされるという閣議決定がなされたことから、その影響が十分に反映されている結果が出ています。

§ 主な概要 §

◎不動産は買い時志向へ

◎生活環境重視の持家派と賃料重視の賃貸派

◎スマホでの検索上昇中

【概要解説】

まずは、『不動産は買い時か?』という質問ですが、「買い時と思う」という回答は、昨年より4.4%上昇し、約3割の方が「そう思う」と回答しています。その理由としては、「消費税率が上がる前だから」を筆頭に、「住宅ローン減税など税制優遇が実施されているから」、「不動産価値が安定または上昇しそうだから」の順となっています。なお、「不動産価値が安定または上昇しそうだから」との回答については、全体と比較してみると60代の方々による意識が高まっている結果が現れています。

次に、『あなたは「持家派」「賃貸派」どちらですか?』については、依然「持家派」との回答が圧倒的な結果となっており、「持家派」を重視するの方々において『住宅を購入するポイントは何ですか?』(複数回答)との質問では、「周辺・生活環境が良い」61.7%、「交通の利便性が良い」56.4%と、生活環境を重視する回答が上位を占めており、次いで「日当たり・住宅の向き」38.1%や「不動産の価値」37.3%というように、こだわりをみせる傾向が伺えます。一方、「賃貸派」の方々において『住宅を借りる際のポイントは何ですか?』(複数回答)との質問においては、「賃料」を重視する回答が76.9%、次いで「交通の利便性が良い」58.7%ということで、「賃料」は若年層の意識が高く、「交通の利便性が良い」は高年齢層ほど重視するとの結果となっています。

その他、今回の調査で変化が生じ始めているものとして『パソコン以外で不動産物件検索サイトを利用したことがありますか?』の質問がありますが、こちらは、昨年の「利用したことがない」との回答が80.6%に対して今回は75.5%と5.1%の減少、それに対して「スマートフォンのサイトから賃貸物件を探す時に利用したことがある」との回答は昨年度の10.5%に対して今回は16.3%と5.8%の増加となっており、ほぼ同率が移行しているように伺えることから、近年のスマートフォン及びタブレット端末の普及の加速という時代背景からして、今後はパソコンからスマートフォン若しくはタブレット端末での検索が増加する傾向が予測されます。因みにスマートフォンで売買物件を探すという回答例もありますが、売買と賃貸を比較すると、賃貸物件には税金や住宅ローン等の心配がないことから賃貸物件検索の方が気軽に検索しやすいのではないかと考えられます。

調査報告の詳細は、別添の報告書をご参照下さい。